

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。」とあります。」第1テサロニケ5:16~18 神様に対して「喜ぶ」「祈る」「感謝する」は非常に大切です。その中でも特に今日は「祈る」事を取り上げてみましょう。

「絶えず祈りなさい。」と言われていています。祈りは神との会話であり、呼吸であるとも言われています。呼吸を止めたら死んでしまうように、祈りを止めたら霊が死んでしまいます。み心の生き方をする為に、絶えず神と交わり祈ることは非常に大切なことです。「信仰の創始者であり完成者である主から目を離さないでいなさい。」

「祈りは聞かれる No.1~5」という小冊子がみ声新聞から出ていますが、パウロ秋元牧師がご自分の祈りの体験を通して、祈ることの大切さと恵みを書いておられます。祈った結果、スキーで骨折した時に普通とても痛むらしいですが痛まなかったこと。ギブスをはめて我慢できないほど痒くなるそうですが、それも痒くならなかったことを体験されたそうです。ところがリハビリの時痛くて、祈っていなかったことを思い出して祈ったそうです。祈ること祈らないことには大きな差があります。祈ってもその通りにならないとよく聞きますが、何度祈ったのかと聞くと、1,2度と言われます。もっと熱心に祈り、悔い改めることが合ったら悔い改めて十字架を見上げて祈り続けましょう。勿論何度も祈って聞かれなかった例もあります。み心の祈りは聞かれます。罪以外なら何でも祈ってよいのですが、神様が「それはみ心ではないよ。」と言われてたら、切り替える必要がありますが、しつこく、何度でも返事がもらえる迄祈りましょう。神様の時があり、まだ“その時”が来ていない場合もあるでしょう。祈ることを知っているクリスチャンは素晴らしい特権を持っています。それを生かして用いるなら素晴らしい恵みと祝福に出会えるでしょう。

日本が朝鮮を統治していた時、天皇や天照大神を拝むように強いていましたが、反する者を投獄させひどい迫害を加えていました。偶像礼拝に対して戦った安利淑というクリスチャンの若い先生の手記「たといそうでなくても」には、投獄中にも沢山祈りが答えられ、危険から守られ、救いが起こっています。いつも寒くお腹が空いてたまらない中、ある時神様が特別の方法で美味しい物を食べることができるのですが、それが見つかりあわやという時、逃亡者が出たというので恐ろしい看守は慌ててその場から走り去ってゆく、、、というような神様が働いてくださった証が数限りなく載っています。神様は生きて働き、私たちの益の為に働いてくださいます。絶えず祈り神の助けを受け、みわざを見てゆきましょう！

TLEA FRH Church [The Light of Eternal Agape]

FRH (天に登録されている長子たちの教会)

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven



Siloam (シロアム: 遣わされた者 ヨハネ9:7)

2020年7月26日 No.1113

< II 歴代誌 20:15, 17 >

この戦いはあなたがたの戦いではなく、神の戦いであるから。

この戦いではあなたがたが戦うのではない。

しっかり立って動かずにいよ。

あなたがたとともにいる主の救いを見よ。

🎵 God is working for my good , now , for my good ,

for my good , God is working for my good , Yes , You really are! 🎵

<http://astone-blog.jp/tleafrh/>